

夢を叶えるために

鹿児島大学教育学部附属小学校 六年 萩原 茉春

「ヒッヒッフー」  
小さい頃に『コウノドリ』というドラマを見た。色々な事情をもつ妊婦さん達に産科医や助産師が優しく対応する姿に感動した。出産は命がけだ。一つの命の生死が関わっていると思うと、とても怖くなる。しかし、一人でも多くの赤ちゃんが生まれてきてくれると、とても嬉しい。そんな出産の場に立ち会えるようになりたいと思った。

私の将来の夢は助産師だ。助産師とは、妊婦さんに寄り添い、赤ちゃんを産むのをサポートする仕事だ。この仕事に就くための道を改めて調べてみた。

助産師になるためには、助産師の国家試験に合格することが必要で、その前に助産師の試験は看護師資格を取得していないと受けることができない。助産師になるのは簡単ではない。高校を卒業後は、大学に入り看護課程・助産師課程を受

け、看護師国家試験を受け、看護師資格を取得し、さらに助産師国家試験を受け、助産師資格を取得しなければならぬ。そこから主に病院や助産院、クリニックで働き始めるだろう。そこからどんな事情をもった妊婦さんにも優しく寄り添い、たくさん赤ちゃんの誕生に立ち会えるようになることが私の夢だ。

しかし調べていくうちに、学位以外にも助産師になるために必要な考えやものがあることに気づいた。私が特に必要だと思ふものは、次の三つだ。

一つ目は、命が誕生することに感謝の気持ちを持つこと。助産師の仕事には命が関わっている。一つの命が誕生することを当たり前だと思わず、産まれてきてくれる子達に「ありがとう」という気持ちもつことが助産師の仕事に大切だ。

二つ目は、体力。一つの命の誕生には妊婦さんはもちろん、助産師も非常に体

力を消耗する。どんな過酷な状況においても「妊婦さんと赤ちゃん第一」の気持ちで取り組めるパワフルさが必要だ。いつ、何がおきるかわからない中で、状況に合わせて対応しなければならぬ。私は今、部活に励んでいて、これからも続けていこうと考えている。その体力が助産師になっても生かされるだろう。

三つ目は、たくさんのお金の学費だ。助産師になるまでに大学の学費などを含めてたくさんのお金が必要だ。今も習い事の月謝などでお金のことでも迷惑をかけてしまっている。今は自分のことでもいいなってしまっているからいつか、助産師になって親に頑張っている姿を見てもいい感謝の気持ちを伝えたい。

いつか、たくさん赤ちゃんの誕生に立ち会える助産師になる。小さい頃から抱いていた夢を叶えるために努力をし、悔いが残らないように今できることを全てやりとげられるように目の前のことに一生懸命頑張っていきたい。

萩原 茉春 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 助産師

その理由：人が産まれる為に必要な職業だと思うから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12 (小6)	バスケット受験を頑張る。	バスケの月謝 遠征費
2023年	13 (中1)	バスケットの強い中学校に入学する。	入学金 バスケの月謝
2024年	14 (中2)	・部活を頑張る。	授業料 衣料費
2025年	15 (中3)	・助産師に関する勉強をする。 ・英検3級をとる。	
2026年	16 (高1)	高校に入学する。	
2027年	17 (高2)	・勉強と部活を両立させる。 ・受験勉強をする。	
2028年	18 (高3)	・英検2級をとる。	
2029年	19 (大1)	鹿児島大学保健学科に入学する。	入学金 授業料
2030年	20 (大2)		
2031年	21 (大3)	助産師になるために勉強する	
2032年	22 (大4)		
2033年	23	鹿児島県内にある病院の助産師	
2034年	24	として働く。	
2035年	25		
2036年	26	たくさん赤ちゃんの出産に	
2037年	27	立ち会える助産師になる。	
2040年	30		

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！